

令和 3 年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に，豊かな心と個性をもち，自主性・創造性を発揮して，たくましく生きる人間を育成する。

（2）具体目標（具体的な生徒像）

- 心身ともに健康で，気力あふれる生徒（強く） ○ 自ら学び，創造性に富む生徒（賢く）
- 思いやりがあり，心豊かな生徒（明るく） ○ 地域や世界に関心を持ち，未来を拓く生徒（拓く）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒が互いの個性を認めつつ，学習や行事，部活動などに目的をもって取り組む中で，自分のもつ良さに気づき，将来にわたって自分を高め，自分と社会の未来を拓いていこうとする生徒を育成する。

そのために，教職員は自己に与えられた使命を自覚し，自己研鑽に励み，ひいては保護者や地域から信頼される学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができる公正で温かな学校づくりに努める。
- (2) 教職員は自己の使命と責任を自覚するとともに，常に自己研鑽に励み，専門職としての力量を高める。
- (3) 多様な生徒の存在を認識しつつ，生徒との人間的な触れ合いを深め，人権感覚を磨きながら生徒理解や指導方針に基づく指導を推進する。
- (4) 地域や世界とのつながりの中で生活していることを自覚し，身につけた力を地域や社会のために活用できる特色ある学校づくりと教育課程の編成に努める。
- (5) 学校の課題を明確化し，課題解決に向けて組織的に取り組む。
- (6) 生徒の社会的自立を促すために，創意ある教育課程の編成に努める。（キャリア教育の視点）
- (7) 9年間を通して，生きる力をはぐくむ小中一貫教育の最終段階として，学びを広げ深められる環境を整える。
- (8) 質の高い教育を目指して，学校業務の明確化，効率化や勤務時間を意識した働き方を推進する。（教職員の働き方に関する視点）

【瑞穂野地域学校園教育ビジョン】

9年間の連続した学びの中で，生きる力（確かな学力，健やかな体，豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育

4 教育課程編成の方針

（1）基本方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領の示すところに従い，本校教育目標の達成を目指し，生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して，適切な教育課程を編成する。

（2）留意点

- ・ 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で再構築する。
- ・ 生徒指標「強く 賢く 明るく 拓く」を「生徒，教職員，保護者・地域」のそれぞれに対して，身につけたい力や役割を明確化したカリキュラムマネジメントを行う。
- ・ 小学校及び中学校が一貫した教育課程の下で，地域住民等と連携及び協力をしながら教育活動を行えるように努める。
- ・ 保護者や地域の声を学校評価等を通して把握し，教育課程の改善に生かす。
- ・ 地域の教育力を活用するなど，必要な人的又は物的な体制を確保する。
- ・ 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図ることに努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】 ・全職員が取り組むべき学校の課題を共通認識し、課題解決のために組織的に対処する。 ・業務改善を進め、生徒と向き合う時間の確保を目指す。 ・多様な専門スタッフと連携し、チームとして協力し合いながら指導にあたる。 【 学 習 指 導 】 ○ 論理的に考え、思考を深めあう学習活動の推進 ○ 自主学習（家庭学習）習慣の定着を目指した指導の実践 ○ 目標の明確化と、つまづきを克服させる振り返り活動を取り入れた学習指導の実践 ・学校課題に即した研究授業を通しての授業改善（含 ミニ研究授業） ・学力調査結果の分析に基づいた課題を組織的に解決するPDCAサイクルの確立 【 児 童 生 徒 指 導 】 ○ いじめがおきない、不登校を出さない指導の展開、保護者への学校の取組の周知 ・校内対策会議等を活かした、組織的で迅速かつ継続的な対応 ・SC，MS，関係諸機関との連携 ○ 規範意識の育成と基本的な生活習慣の確立 ・全ての生徒が自己肯定感の持てる学校づくりの推進 【健康（体力・保健・食・安全）】 ○ 定期健康診断・元気っ子健康体力チェック等の結果の有効活用 ○ 健康教育・食育を通した望ましい生活習慣の確立 ・体力向上を目指した体育的活動の推進 ・交通安全指導の徹底				
--	--	--	--	--

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上	・生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、授業のねらいを明確にすると共に、積極的にグループ学習を取り入れ、学ぶ合う態度を育成する。 ・個に応じた指導を充実させることで、進んで学習する態度を育成する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上	・通常の学校生活や主体的・対話的で深い学びにつながる道徳の授業の実践を通して、思いやりの心を育てる。 ・行事での振り返りや帰りの会等で思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介、称賛することで啓発していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上	・生徒会を中心とした取組により、意識の向上を図るとともに生徒の主体的な活動を促していく。 ・毎週行われる生徒指導部会において共通理解を図り、教職員が同一歩調で指導にあたれるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒・保護者の肯定的回答 85%以上	○生徒会あいさつ運動をさらに発展させ、部活単位のあいさつ運動を推進する。 ○校内や地域学校園のあいさつ運動を充実させるため、地域協議会や PTA との連携をより進めたあいさつ運動の推進し、生徒があいさつしやすい環境をつくるとともにあいさつの習慣化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	・自己肯定感を高める活動や達成感を味わわせる活動を通し、目標に向かって粘り強く取り組む力を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	・生活安全委員会・保健委員会の活動や保健体育の授業を通して、健康や安全についての意識を高める。 ・定期的な登下校指導、安全点検等を通して安全に生活できる環境作りに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	・お互いを認め合う活動を通して、協力し合う大切さを学ばせるとともに、キャリア教育を通して、自分の夢や目標が明確になるよう指導していく。 ・地域の行事に積極的に参加を促し、人の役に立つ喜びを味わわせる。 ・1年生で、「働く人に学ぶ」を企画し、社会で活躍している方から、直接話を伺う機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	・英語の授業などで積極的に ALT を活用し、言語活動の充実を図る。 ・ALT には授業中はもとより休み時間、給食、清掃においても英語でコミュニケーションをとるよう促していく。また、インタビューテストなどで生徒が積極的に英語を用いて活動できる時間を増やしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒・保護者の肯定的回答 80%以上	○1年の総合的な学習の時間の「郷土」において、宇都宮の学習を行う。 ○地域の行事に参加を促し、宇都宮の良さを知る機会を増やす。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・情報教育や総合的な学習の時間における調べ学習等で、ICT 機器や図書等を活用する力を育てる。 ・各教科の授業の中で、タブレット型パソコンを積極的に活用する。 ・授業等を通して、調べ学習に必要な基礎的な知識や技能を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上	○体育祭における高齢者招待等の機会をもったり、地域の福祉のまちづくりに協力し、地域の行事等で高齢者との交流の場を持ったりし、高齢者の理解といたわる心を育てる。 ・道徳の授業を通し、高齢者の理解といたわる心を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・社会科、技術家庭科、理科の授業の中で、「持続可能な社会」などについて、話し合い活動を取り入れることで関心を持たせる。 ・生徒会のリサイクル活動や総合的な学習の時間を利用し環境問題について考える機会をつくる。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 1 生徒は朝の読書にまじめに取り組んでいる。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 95%以上	・生徒が主体的に読書に取り組める環境整備に努めるとともに、読書活動の支援のあり方を検討する。 ・図書委員会による本の紹介を活発に行い、読書への興味関心を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 2 生徒は自主学習ノートに前向きに取り組んでいる。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上	○素晴らしい取組をしている自主学習ノートを積極的に紹介し、よりよい家庭学習の進め方や方法を広く周知する。 ○生徒会の学芸委員会を通して、優秀な取組を紹介・表彰することで生徒の意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	・個別の指導計画の内容を充実させ、作成後も年間を通して、活用できるよう周知し、生徒への支援を充実させる。 ・校内支援委員会や教育相談部会を定期的に開催し、情報交換を行うとともに、SCの支援を積極的に取り入れる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	・生徒会が中心となって「いじめゼロ強調月間」に力を入れ、いじめの未然防止に努める。 ・「いじめアンケート」を定期的実施し、いやな思いをしている生徒については迅速に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上	・小中で連携し不登校児童・生徒の情報を共有し連携して検討し、支援を行う。 ・教育相談部会を毎週開催し、情報交換及び支援策の検討を行い、共通理解のもと家庭と連携を図り支援していく。 ・別室教室の充実と、全職員による生徒への支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	・校内支援委員会等で、外国人生徒の実態を把握し、全教職員の共通理解のもと適切な支援を行っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	・生徒にとって居がいのある学校づくりを目指し、より魅力的な教育活動の推進に努める。 ・生徒会活動を充実させ、自治的・自立的な雰囲気を醸成する。 ・学級経営や教育相談を充実させ、心の通じ合う「居がい」のある活気に満ちた学校づくりを推進する。 ・Q Uを活用し、自己肯定感の醸成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	・生徒にとってより分かる授業を目指し、教員の授業力向上の取組を充実させる。教員相互が授業を見合う取組を一層充実させる。 ・いつでも質問できる雰囲気づくりに努め、個に応じた学習指導を行う。 ・家庭学習やドリル学習などの指導を通じて、基礎学力を定着させる。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	・校長を中心とした「チーム学校」の考えのもと、ミドルリーダーを中心に、お互い協力し合いながら業務に取り組む職場環境を構築していく。 ・一人一人が「風通しの良い職場」を意識することで、情報の共有化を図るとともに協力しやすい雰囲気を作る。 ・SC、SSW、MS等と連携して課題の解決に取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・時間外勤務の多い教職員に対しては、管理職が個別に面談し、業務の効率化を指導、助言していく。 ・みずほネットによる業務の効率化、部活動方針に基づいての教員の勤務時間の縮小などに取り組む。 ・事後アンケート等を行い、業務のスリム化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 保護者・地域の肯定的回答 80%以上	○小中一貫教育推進主任を中心に、学校間の情報交換や交流・連携を推進するために、各部会の運営方針を明確にし、分科会活動の充実に努める。 ・小中の連携を一層図り、「地域学校園たより」を発行することで、保護者への啓発を行い、小中一貫教育への周知に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者・地域の肯定的回答 80%以上	○食農体験学習では、地域の農家の協力を得ながら、田植えからお米の収穫までの活動を行っていく。 ○地域の蛍水会の協力を得ながら、ホタルの飼育を行っていく。 ○社会体験学習を通して、地域の企業等と連携しながら、キャリア教育を進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 保護者・地域の肯定的回答 80%以上	○地域が目指す生徒像(あいさつを中心にコミュニケーションのとれる生徒、失敗を恐れずにチャレンジする生徒、ルールやきまりの本質を知る生徒)の実現に向け、魅力ある学校づくり協議会を活性化させ、家庭や地域を協働した学校づくりの推進に努める。 ○地域人材や学習ボランティアによる「地域未来塾」を通して、学校と地域が連携・協働した学習支援の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員・地域の肯定的回答 90%以上	・安全点検を毎月確実にし、修繕箇所を早めに修繕する。 ・教職員の危機管理意識を高めることで、危険な場所の早期発見と迅速な改善に努める。 ・整理整頓に努め清掃が行き届いた校舎や体育館の維持、管理に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・授業の中で、タブレットを活用した学習活動等について教科部会で検討したり、校内研修を実施したりする。 ○地域協議会を中心とした図書ボランティアの協力を得ながら、図書室の環境を整えていく。 ・希望図書のアンケートを活用し、必要な本を取り揃えていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 学校はいじめのない明るく楽しい雰囲気づくり、人間関係づくりに努めている。 【数値指標】 ◎保護者・生徒の肯定的回答 85%以上	・「学校いじめ防止基本方針」の改定を受け、いじめ対策を更に強化し、学校のホームページ、学校だより、保護者会等で積極的に周知・説明していく。 ・生徒会が中心となって「いじめ撲滅キャンペーン」を展開する。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B4 教職員は、地域のよさを自覚し、郷土への親近感がもてる生徒を育成している。 →地域の行事への生徒の参加等を支援し、地域の方々とのふれあいを通して、そのよさを自覚し、郷土を愛する心情を育てている。 【数値指標】 ◎保護者・生徒・地域住民の肯定的評価 85%以上	○地域との関わりの中で、地域行事への積極的な参加を促し、地域貢献できる生徒の育成に努める。年間を通したボランティア募集の予定の提示をもとに、計画的に参加できるようにする。 ○PTAや地域行事への生徒の積極的な参加を促し、瑞穂野のよさを再認識させる。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

--

7 学校関係者評価

--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

--